

宮城県感染症発生動向調査情報(第25週)

宮城県【平成25年06月27日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

- 2013.6.17 ~ 6.23 ・ 第25週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所								仙台市				宮城県(含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第22週	第23週	第24週	第25週		
水痘	19 3.80	10 1.00	4 0.80	8 4.00	9 3.00	3 0.60	2 1.00	50 1.92	105 1.81	2,036	◎→	◎→	◎→	◎		
流行性耳下腺炎	1 0.20	4 0.40	1 0.20		1 0.33	3 0.60	4 2.00	9 0.35	23 0.40	565	○→	レ→	→			
百日咳											→	→	→			
感染性胃腸炎	21 4.20	30 3.00	15 3.00	5 2.50	15 5.00	10 2.00	9 4.50	154 5.92	259 4.47	10,584	◎→	◎→	◎→	◎		
手足口病	7 1.40	9 0.90	1 0.20	1 0.50	2 0.67	3 0.60		16 0.62	39 0.67	259	→	→	→	○		
伝染性紅斑	2 0.40	3 0.30					2 1.00	8 0.31	15 0.26	304	○→	レ→	○→	レ		
突発性発しん	1 0.20	4 0.40	6 1.20		2 0.67	3 0.60	1 0.50	15 0.58	32 0.55	884	○→	○→	○→	レ		
ヘルパンギーナ		6 0.60		9 4.50	10 3.33	1 0.20		7 0.27	33 0.57	128	→	→	○→	○		
インフルエンザ		1 0.07	1 0.13			2 0.25	1 0.25	2 0.05	7 0.08	15,671	◎→	レ→	→			
咽頭結膜熱	6 1.20	2 0.20	1 0.20	5 2.50	4 1.33	4 0.80		9 0.35	27 0.47	455	○→	○→	レ→	○		
流行性角結膜炎		1 0.33						1 0.17	2 0.17	74	→	→	→			
急性出血性結膜炎											→	→	→			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	18 3.60	20 2.00	5 1.00	6 3.00	4 1.33	18 3.60		39 1.50	110 1.90	2,870	◎→	◎→	◎→	◎		
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→			
無菌性髄膜炎								1 0.20	1 0.08	6	→	→	→			
マイコプラズマ肺炎		5 5.00	1 1.00	1 1.00		2 2.00	8 8.00	4 0.80	21 1.75	490	○→	レ→	→			
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→			
RSウイルス感染症		1 0.10		1 0.50		1 0.20		3 0.12	6 0.10	252	→	→	→			
拡大疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	5	5	3			8				：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向					
	川崎病										【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/					
	不明発疹症															

今週の全数報告疾病

*男児、女児は6歳未満

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核

大崎管内 女性1名
石巻管内 男性1名
仙台管内 男性1名(第23週)、男性4名、女性4名

- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌(O型不明)
栗原管内 女性1名
腸管出血性大腸菌(O157)
仙台管内 女性1名
腸管出血性大腸菌(O26)
仙台管内 男性1名

4類感染症: 報告なし

- 5類感染症: 後天性免疫不全症候群
仙台管内 男性1名(第24週)

風しん

石巻管内 男性1名(検査診断例)
仙台管内 男性2名(検査診断例)、男性1名(臨床診断例)
女児*1名(検査診断例)、女性1名、女児*1名(臨床診断例)

今週のインフルエンザによる入院患者報告 (仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

【水痘】

栗原管内で注意報値を超えた。

【風しん】

全国的な傾向と同様に県内でも流行が継続している。今週あらたに7例の報告があり、2013年の累積報告数は79例となった。今後も流行の拡大に十分注意してください。

【病原体検出情報】

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第23週採取分 (6.3～6.9)	第24週採取分 (6.10～6.16)	第25週採取分 (6.17～6.23)
パラインフルエンザウイルス3型	11件	5件	0件
RSウイルス	2件	2件	1件
Aデングウイルス	0件	1件	0件
サイトカロウイルス	0件	1件	0件

※ パラインフルエンザウイルス3型の分離が目立っています。

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2013年 第22週	23.2	43.9	20.7	1.2	0.0	4.9	3.7	2.4	0.0	0.0	0.0	82
第23週	30.0	35.0	10.0	0.0	5.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20
第24週	0.0	57.1	35.7	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14
第25週	0.0	42.9	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	7

定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第23週)

(国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第18週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県(4.45)、宮崎県(1.32)、青森県(1.08)が多い。RSウイルス感染症: 報告数は372例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約75%を占めている。咽頭結膜熱: 定点当たり報告数は第19週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。佐賀県(2.43)、広島県(1.68)、福岡県(1.54)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 定点当たり報告数は3週連続で減少した。山形県(4.10)、新潟県(3.61)、福井県(3.45)が多い。感染性胃腸炎: 定点当たり報告数は3週連続で減少した。山形県(9.70)、愛媛県(9.54)、宮崎県(9.50)が多い。水痘: 定点当たり報告数は減少した。福岡県(2.24)、宮崎県(2.22)、新潟県(2.07)が多い。手足口病: 定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。佐賀県(6.39)、福岡県(4.55)、熊本県(3.68)が多い。伝染性紅斑: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。富山県(1.10)、新潟県(0.33)、宮城県(0.31)が多い。百日咳: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。沖縄県(0.18)、高知県(0.07)、栃木県(0.06)が多い。ヘルパンギーナ: 定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。熊本県(1.52)、徳島県(1.22)、山口県(1.21)が多い。流行性耳下腺炎: 定点当たり報告数は減少した。秋田県(1.20)、福井県(0.91)、山形県(0.77)が多い。マイコプラズマ肺炎: 定点当たり報告数は増加した。青森県(2.83)、埼玉県(2.00)、宮城県(1.75)が多い。

インフルエンザ定点

インフルエンザ定点は、内科定点と小児科定点を合わせたもので、県全体で93定点です。
宮城県: 51定点
仙台市: 42定点
合 計: 93定点

【HIV感染者、AIDS患者累積報告数】 平成25年3月31日現在

	HIV感染者	AIDS患者
宮城県	101(1)	69(2)
全国	14,932(227)	6,824(107)

()内は平成24年12月31日～平成25年3月31日分の報告数である。
国立感染症研究所・感染症情報センター IASR2013年6月報より